

「中高年世代活躍応援プロジェクト広島県協議会事業実施計画」における目標及びKPI

1 不安定な就労状態にある方

令和7年度

【目標】	正規雇用を希望しながら不安定な就労状態にある方について、現状よりも良い処遇を目指し、正規雇用者を3,000人増やす。	
【KPI】	指標	実績等
	○ハローワーク紹介による中高年世代の不安定就労者等の正社員就職件数 2,823件	○正社員就職件数 2,000件（11月末現在）
	○公的職業訓練修了後3か月以内の就職件数 1,291件	○訓練修了後の就職件数 822件（11月末現在）
○キャリアアップ助成金（正社員化コース）活用による正社員転換件数 290件	○正社員転換件数 371件（11月末現在）	

【取組】

	取組概要	取組状況等
マッチング・相談による支援	<p><労働局></p> <p>○中高年層（ミドルシニア）専門窓口を設置し、チーム支援を実施</p>	<p>○令和7年4月1日、ハローワーク広島及びハローワーク広島西条にミドルシニア専門窓口を設置し、キャリアコンサルティング、職業訓練相談、求人開拓等、各専門担当者によるチーム支援を実施。</p> <p>○支援対象者数435人、正社員就職件数275件</p> <p>セミナー65回、面接会46回開催、参加者数1,318人（11月末現在）</p>
	○中高年世代を対象とした限定求人・歓迎求人の開拓・確保	○中高年世代を対象とし、雇用期間の定めがない労働契約であって、未経験者でも応募可能な求人の開拓・確保のため事業所への周知を実施。
	○各ハローワークにおけるセミナー・ミニ面接会の開催	○中高年世代を対象としたセミナー等の開催数567回、参加者数5,344人（9月末現在）
	○民間委託による企業説明会や就職面接会の実施、幅広い周知広報の実施による気運の醸成	○委託事業に係る「中高年世代活躍応援プロジェクト特設サイト」を開設し、中高年世代支援について周知・広報を実施。
	<広島県>	○10月、中高年世代の採用を検討している企業向けに雇用管理セミナー「人材確保につながるコミュニケーション術」を開催。参加企業数13社
	○「働きたい人全力応援ステーション」における中高年世代等のマッチング支援、キャリア相談対応	○11月、職業訓練校見学ツアーを開催。参加者数4人
	<広島市>	○新規登録者数722件、就職件数251件（11月末時点）
○「しごととの相談カフェiroha」における中高年世代等のマッチングの促進	※R7年度就職決定件数にはR6年度からの継続利用者分を含む。	
<呉市>	○就職相談窓口「働きたい人全力応援ステーション（通称：はたすて）」において、中高年世代を含む全世代の再就職・転職に悩みを抱える求職者を対象に、キャリアコンサルティングから就職、定着までワンストップで伴走型支援を実施した。	
○「しごと相談カフェiroha」の実績（11月末現在）	・求職登録者数531人	
○「呉しごと相談館」事業（11月末現在）	・就職決定者数154人	
○「呉しごと相談館」における中高年世代等の就職支援	・相談者数（延べ人数 60人）	
	・就職者数 3人（うち正規 3人）	

1 不安定な就労状態にある方

令和7年度

職業能力開発等に向けた支援	<p><労働局> ○公的職業訓練に受講あっせんし就職支援を実施</p>	<p>○公的職業訓練への受講あっせん1,159件（10月末現在）</p>
	<p>○求職中の非正規雇用労働者の方が働きながら受講しやすい夜間・土日やeラーニング等の訓練の提供</p>	<p>○求職者支援訓練短時間3コースの設定（12月末現在） （医療事務、介護） ○eラーニング6コースの設定（12月末現在） （Webデザイン、マーケティング）</p>
	<p><広島県・機構> ○県立高等技術専門校及び広島職業能力開発促進センターにおいて職業訓練を実施</p>	<p>○県：施設内開講コース6件（12月末現在） 委託先開講コース46件（12月末現在） ○機構：施設内訓練コース30件（うち企業実習付き4件）設定 （12月末現在）</p>
職場定着・企業向けの取組	<p><労働局> ○特定求職者雇用開発助成金・トライアル雇用助成金の積極的な活用</p>	<p>○不安定な就労状態にある中高年世代を正規雇用労働者として雇い入れる事業主に対する助成金制度の活用を周知。 特定求職者雇用開発助成金 申請136件（11月末現在） トライアル雇用助成金 申請40件（11月末現在）</p>
	<p>○訓練機会の提供を行うことで非正規から正規社員の転換を促進する事業主に対する「人材開発支援助成金」の活用</p>	<p>○有期契約労働者等の正社員転換を目的に訓練を実施する事業主に対する助成金制度の活用を周知。 人材開発支援助成金（人材育成支援コース） 申請4件 計画4件 （11月末現在）</p>
	<p><経済産業局> ○中高年世代を含む多様な人材の活用促進のため中小企業向けのセミナー・ワークショップの開催</p>	<p>○中小企業等向けのセミナーを開催 ①副業・兼業オンラインセミナー（R7.9.16ほか計6回） 参加企業数：延べ42社 ②副業・兼業リアルセミナー@広島（R7.11.18） 参加企業数：8社 ③戦略策定セミナー@広島+オンライン（R7.10.2） 参加企業数：34社 ④戦略策定ワークショップ@広島+オンライン（R7.11.26） 参加企業数：10社</p>

「中高年世代活躍応援プロジェクト広島県協議会事業実施計画」における目標及びKPI

2 長期にわたり無業の状態にある方

令和7年度

【目標】	本人やご家族の希望に応じ、求職活動に踏み出すための支援を行い、就労その他の職業的自立支援につなげることを目指す。	
【KPI】	指標	実績等
	○サポステの支援により、就職及び公的職業訓練の受講に至った件数 242件	○就職等件数 190件（9月末現在）
	○サポステの新規登録者数 340件	○新規登録者数 193件（9月末現在）
【取組】		
	取組概要	取組状況等
相談・各種プログラム等による支援	○相談体制の整備	<ul style="list-style-type: none"> ・インテーク面談を重視し、家庭環境や背景を丁寧に聞き取り、個々人の問題点を把握していく。生活困窮者や短期就労を繰り返している方については、関係機関と連携を取りながら進めていく。また、生活面で改善が難しい場合は、福祉・医療機関等へのリファーも検討する。（広島サポステ） ・対象者の自尊心を汲み取り年齢を考慮した安心できるスタッフが担当してキャリアコンサルティングを実施している。（北部サポステ） ・本人の特徴や課題に応じ選定した相談員を中心に本人の実情に寄り添いながら個別支援を実施。また必要に応じて、社会福祉士有資格スタッフも交えたケース会議を行っている。（ふくやまサポステ）
	○働く意欲向上等に向けたプログラムの提供	<ul style="list-style-type: none"> ・仕事を身近に感じ、興味や関心を持ってもらえるような場を作るため、外部の方を招いた職業人講話や「ミニ企業説明&相談会」を開催する。その他、適性適職診断、キャリアデザイン、コミュニケーションスキルアップ、PC講座等支援のプログラムを行う。また、40歳代を対象としたセミナーを月に1回実施。本人の課題解決ができる内容としている。（広島サポステ） ・中高年世代に特化することではなく、若年者プログラムと一緒に参加することで相互の働く意欲に影響を与えている。地域の住民と関わる草抜きボランティアや就活の課題と解決策を把握し現在の就活環境を再認識する1dayセミナー等。（北部サポステ） ・個別面談を主軸に課題に応じたセミナーや活用ステップを擦り合わせ。社会参加に向けた段階的ステップ（ボランティア活動以外にも職場見学会など）動機づけを工夫している。ハロワ見学会開催や窓口連携により利用のハードルを下げている。（ふくやまサポステ）
関係機関へのアウトリーチ	○福祉機関等への出張相談の実施	<ul style="list-style-type: none"> ・ひきこもり相談支援センター、広島地域支えあい課、くらしサポートセンター、就労移行支援事業所、作業所等、福祉機関と連携しサポステの周知を行い、必要に応じてケース会議に参加。また、依頼があればアウトリーチ相談を実施する。（広島サポステ） ・安佐南区総合福祉センター、安芸高田市障害者基幹相談支援センター、三次市障害者相談センター、庄原市社会福祉協議会、北広島町社会福祉協議会を中心に担当エリアの福祉機関に定期、不定期に出張相談実施。（北部サポステ） ・自治体主催の会議や研修会でのサポステ周知、出張相談の情報提供、顔の見える関係構築に取り組んでいる。なかぼつとの連携会議を実施。（ふくやまサポステ）

2 長期にわたり無業の状態にある方

令和7年度

<p>職場体験の機 会の確保</p>	<p>○職場体験等の受け入れ先の拡大</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・中小企業家同友会等経営者団体の会合や合同企業説明会等に参加しサポステ事業の説明とともに職場体験受け入れ先として協力をお願いしている。さらに興味をもっていただいた企業に訪問し理解をしていただいている。また、利用者の希望する体験先があれば連絡し協力の依頼を行っている。(広島サポステ) ・安佐南区、安佐北区、安芸太田町、北広島町、安芸高田市、三次市、庄原市の各自治体雇経済観光局、商工会、ハローワーク、サポステホームページより告知している。(北部サポステ) ・ハローワークや地域コミュニティとの情報交換の中で得た企業情報や繋がりを基に、職場見学等からの機会提供依頼を積極的に行い実施に繋げている。企業内ボランティア作業にも取り組み中。(ふくやまサポステ)
<p>職場定着・ス テップアップ 支援</p>	<p>○中・長期的なキャリア形成のための資格取得等技術向上支援に向けた個別相談や懇談会等の実施</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金曜日は19時まで開館時間を延長、土曜日も開館することで在職中の利用者が利用しやすい体制を整えている。土曜日は「定着ステップアップセミナー&座談会」を月2回開催し、継続した就労を意識し、実践的な内容としている。資格取得に向けた各種訓練の情報をいつでも提供できるようリーフレット等を準備している。また、訓練校の説明会を行う。(広島サポステ) ・職場定着・ステップアップ相談のために必要に応じて随時、また第2土曜日にキャリアコンサルティングを実施し個々の課題を共有、継続就労をサポートしている。ステップアップを目指す対象者にはハローワークを通して職業訓練などの情報を提供。(北部サポステ) ・月1回土曜日に定着・ステップアップ対象者にセミナーや座談会を開催し、個別面談は平日夜と土曜日で実施。また来所が難しい場合はオンラインで柔軟に対応。(ふくやまサポステ)
<p>その他</p>	<p>○支援対象者等の家族を対象にした支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・毎月第2土曜日に「ご家族個別相談日」とし家族が相談できる機会を設けている。また、年2回は家族向けの座談会を開催し、家族の現状や悩みを共有し家族同士が親交できる場を提供している。(広島サポステ) ・家族相談会もプログラムに反映しているが、開所日は随時実施。第2土曜日は平日休みが取れない保護者相談の日として開所している。家族以外にも対象者に関わる支援者、福祉機関も連携して家族対応をしている。(北部サポステ) ・定期的に家族向け見学・説明会を開催。それ以外にも家族相談の要望が入れば随時対応。また家族理解も必要なケースは家族相談も提案し実施している。(ふくやまサポステ)

「中高年世代活躍応援プロジェクト広島県協議会事業実施計画」における目標及びKPI

3 社会参加に向けた支援を必要とする方

令和7年度

【目標】	市町PFの設置を契機とした多様な関係機関が参加する地域の支援ネットワークの構築と、居場所づくりをはじめとする、一人ひとりの状態にあった多様な支援の取組が推進されるよう、管内市町を支援することで、本人やご家族と社会とのより太いつながりが生まれることを目指す。	
【KPI】	指標	実績等
	○市町PFを全市町（23市町）で設置する。	○設置市町 21市町（11月末現在）
	○就労準備支援事業（生活困窮者自立支援制度）を全市町（23市町）で実施する。	○実施市町 14市町（11月末現在）

【取組】

	取組概要	取組状況等
地域の支援ネットワークの構築・取組推進	<p><広島県></p> <p>○市町PFの取組の好事例等の情報収集や情報提供</p> <p>○未設置市町への働きかけ等</p>	<p>○市町主管課長会議において設置を促した。</p> <p>○未設置市町あてに、県内の設置に係る状況を情報提供するとともに、PFの考え方や好事例の資料を改めて提供した。</p>
支援対象者の把握	○各市町の支援対象者やニーズの把握	○市町が行うひきこもり実態調査への支援を実施。実態調査を行った市町（11市町）についてHPに掲載。
相談支援の充実・居場所づくり	○市町における支援体制の充実	<p>○PF設置済市町数 21市町</p> <p>○自立相談支援機関による、「ひきこもり・不登校」に関する新規相談件数102件（10月末時点）</p> <p>○各ひきこもり相談支援センターと連携した、市町でのひきこもり支援の充実・強化に向けた働きかけを実施。</p> <p>○ひきこもりに関する相談窓口を全市町で明確化済</p>
	○自立相談支援機関による就労支援や就労準備支援の充実	<p>○市町との会議の場や研修を通じて取組の促進を図った。</p> <p>○就労準備支援事業未実施の市町に対し、国のコンサルティング事業の活用を促した。</p>
	○支援者の資質向上のための研修の実施	<p>○自立相談支援機関の従事者研修を開催。</p> <p>参加者：自立相談支援機関職員・市町職員等（延130名（見込）） 開催状況：4回（R7.9.18、10.30、12.5、R8.2.4（予定））</p> <p>○「地域の支え合いコーディネーター機能強化研修」を開催。</p> <p>参加者：市町職員・社協職員等（18市町、23チーム、130人） 開催状況：全4回 （①R7.6.18、②R7.7.22、③R7.9.5、④R7.11.5） ※全4回を通して、地域（圏域）単位でのチーム受講</p> <p>○ひきこもりに関する住民及び支援者向け研修会を開催。</p>
	<p><坂町></p> <p>○アウトリーチによる伴走型支援の実施</p>	○民生委員、関係機関、地域住民などからの情報等により、ひきこもりの方やその家族に対し訪問（アウトリーチ）による関係の構築を図るとともに、来庁・電話などでの相談支援を実施し、傾聴や、適切な助言を行った。